

ひがしおわりの窓

平成24年5月発行 第9号

基本理念

患者さんの立場に立ち、基本的人権を守り、より安全な医療を提供します。

「児童・思春期ユニットの誕生」を迎えて — 憲法記念日にあらためて考える —



司法精神医学部長
吉岡 眞吾

皆さん、独立行政法人国立病院機構東尾張病院は、ようやく正面から子供たちに向き合えるようになります。平成24年7月から稼働する新築病棟の中に、12床の児童・思春期年代の子供専用のユニットを組み込んだからです。これまで私たちは、主に成人を対象に作られた急性期病棟で子供の入院治療を行ってきました。そこには子供にとって大切な「同世代の仲間」が少なく、大人に混じって「少数派」として過ごさねばなりません。育ち盛りの子供に大切な学習や遊びもままなりません。新ユニットには学習室も備え、自治体の教育委員会等とも連携し、医療だけでなく教育を含めた「育むこと」を重視した臨床を目指しています。また、新ユニットの診療業務を指揮するために、名古屋大学精神医学教室の児童精神医学部門（以下、名大児童部）から新たに児童精神科専門医が2名（医長1名、非常勤医師1名）赴任し、さらに臨床心理士、ケースワーカーを増員配置しました。また、看護課からは静岡県立こども病院へ研修者を派遣して備えました。

私たちが子供の精神医療に深く関わることになった契機は、十数年前に担当した、家庭が崩壊し養育を放棄された環境にあった少女の治療でした。彼女は、さらに級友からの激しい虐めを受け、解離性の意識変容状態で激しい暴力や自殺企図を繰り返し、児童相談所の一時保護や児童自立支援施設でも対応が困難となってしまう緊急入院となったのです。彼女には、その後十年間以上関わることとなりました。それ以来、主に名古屋市の児童相談所（中央療育センター）等から深刻な状況にある子供の緊急入院の要請を受けることが増えてきました。入院に際しては、名古屋市障害企画課にも多大な御配慮をいただいております。こうした経験は、子供の精神医療を行うに当たっては、「医療」や「育み」に先立って、まず彼らを「守る」ことが何よりも優先されるべきことだと教えてくれたと思います。彼らを守ろうとする人・場所があること、そして彼らが守られるべき大切な存在であるということを伝えることこそが、治療の第一歩だということだと思います。

こうした経験は、もう一つ大切なことを教えてくれました。それは、我々が所属する精神科単科病院には、患者としての子供だけでなく、児童相談所などの子供を守る最前線で働く人々をバックアップするという役割も大きいはずだということです。精神科単科病院は、児童の専門施設ではありません。児童精神医学・医療のハブ基地というよりも、成人の精神障害者の診療経験を活かし、子供の専門施設では対応しにくい状況にある子供を引き受けることにより、この地域の施設群が有効に機能できるように連携することも重要なことだと思います。我々の前には、精神に関わる問題が、より一層行動の問題へと投影された子供が多く現れるでしょう。

ただ、子供の精神科医療を行う施設のキャパシティは、どこの地域でも不足しています。新ユニットも12床あるのみです。それに対して、彼らが背負う問題は精神障害だけでなく、家庭環境や経済状況、学校での問題、交際相手の問題等が深刻かつ複雑に絡んでいることがしばしばあります。私たちも多くの方々の御指導や御助力を仰がねばなりません。特に、名古屋大学医学部附属病院、あいち小児保健医療総合センター、愛知心身障害者コロニー、県立城山病院をはじめとする関係諸機関と役割分担することも不可欠です。県や市の健康福祉行政部門や児童相談所等と連携し、地域への再定着も強化されなければなりません。この時忘れてならないのは、私たち名古屋の地で精神医学・医療に携わる者は、名大児童部の豊かな伝統の中に浴しているということだと思います。ここには、堀要、石井高明、若林慎一郎といった日本の児童精神医学の礎を築いてきた諸先輩による「子供を、責任を持って丹念に診続ける」という風気が受け継がれています。その篤い御支援を戴いているからこそ、私たちも新たな船出にも漕ぎ出すことができるのだと思います。この伝統は、当院が伝統としてきた「患者一人ひとりに対応する医療」という姿勢にもよく合致するものだと思います。

本拙文の副題に憲法記念日にも言及しました。私が、この原稿を書いているのは5月3日です。そこで日本国憲法を読み返してみました。その第13条には「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、（中略）最大の尊重を必要とする」と厳粛かつ美しく謳われています。この「国民」の中でも、社会の将来を担う「子供」こそが最も大切な存在であるはずで、私たちも大志をもって子供の精神医療に取り組みたいと思います。皆様の御支援と御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

発行元 独立行政法人国立病院機構東尾張病院
発行責任者 舟橋 龍秀
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~eowari/>

〒463-0802
名古屋市守山区大森北2丁目1301番地
TEL : 052-798-9711
FAX : 052-798-5554

新任職員の紹介



作業療法士 春名 令子

はじめまして。4月から赴任いたしました作業療法士の春名と申します。

作業療法士となって17年目で初めての精神科勤務となり、日々、新鮮な気持ちで患者さんや他のスタッフの方々と関わらせていただいております。

自己紹介ということですが、あまり思いつかないので最近のお気に入り。以前からお酒が好きで、基本なんでもいただくのですが、この所は日本酒の取り寄せを楽しんでいます。おいしいお酒とおいしい料理が、ストレス発散となっています。

こんな私ですが、少しでも早く、この東尾張病院の一員として皆様のお役に立てるよう努力して行きたいと思っております。

今後とも、よろしくお願いいたします。

総看護師長 内山 忍

4月から赴任いたしました内山と申します。

赴任して早1か月が経とうとしています。鶯や鳥の声に癒され、そして咲きほころぶ数々の花に目を見張り…と、新たな発見を楽しみながらの通勤にも、ようやく慣れてきた今日この頃です。

看護師歴も25年を優に超え、いつの間にかベテランと呼ばれる域に入りました。しかし、今までに精神科病棟で勤務したことがありませんので、今は見るもの聞くもの全てが新しく、新鮮なことばかりです。

これからは、病院職員の皆様の御指導・御助言を得ながら研鑽を積み、1日も早く自分の役割を果たすことができるように努力したいと思います。

看護課はチームワークが資本です。看護師の皆さんの知恵と力を結集し、看護課全体の結束力を高めていきましょう。

今後とも、何卒、よろしくお願い申し上げます。

精神科医師 芦澤 裕子

4月から東尾張病院で勤務することとなりました芦澤裕子と申します。

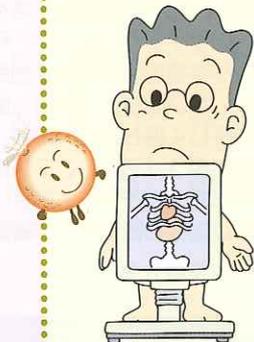
これまで、名古屋大学医学部附属病院で勤務しておりました。まだまだ不慣れで皆さんに御迷惑をかけることもあるかと思いますが、自分なりに精進し、吟療して参りますので、よろしくお願いいたします。

精神科医師 横山 和正

はじめまして。新しく精神科医師として東尾張病院に参りました横山和正と申します。

この病院と縁をもつこととなった皆様方のお役に少しでも立てるよう尽力していきます。何卒、よろしくお願い申し上げます。

主任放射線技師 近藤 公雄



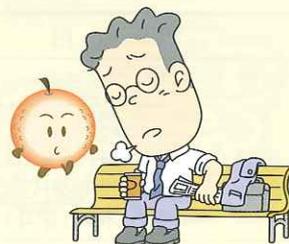
放射線室では、当院精神科にX線診断用の画像を提供しております。そのため、患者さんには、いつでも安心して検査を受けていただけるよう心がけております。放射線室では、各撮影装置が主役となります。CT撮影に関しては、昨年の3月に新しい装置が導入されましたが、入院患者さんの歯科診療用のX線画像に関しては、現在、歯科専用の撮影装置が老朽化のため使用できなくなっており、御迷惑をおかけしております。世間では、大きな流れとしてX線画像のデジタル化が進んでいますが、歯科診療用のX線画像もデジタル化され、フィルムではなくモニターで診断していただけるような方向に変わっていくのではないかと考えられます。それまでは、現有の装置により、できるだけ診断に適した画像を提供できるように努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

column

「悩む力」

the power of wavering

院長 舟橋 龍秀

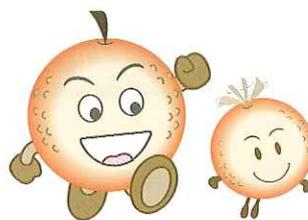


新入社員にとって、4月はオリエンテーションや何やらで、あっという間に過ぎてしまいます。ゴールデンウィークが終わり、「さあこれから」という時になって気分が沈み、職場に行きづらくなり、場合によっては、退職してしまう人たちがいます。こういう状態は、それが始まる時期にちなんで「5月病」と呼ばれてきました。

今から25年ほど前、私が、ある大手企業のメンタルヘルスマネジメントをしていた頃、新入社員のうちの何人かがこうした「5月病」にかかり職場を去っていきました。職場の要請で面接してみると、礼儀正しく少し気弱な印象を与える青年で、彼らの多くは、高等学校を優秀な成績で卒業し、学校推薦で入社していました。彼らは、就職を含めて、これまで何かに悩んだという経験がないようでした。期待と抱負を抱いて就職した彼らは、実際に仕事に就いてみると、「果たしてこの仕事は自分に適しているのか」、「自分が本当にしたいことは別にあるのではないかと」悩み始めます。彼らは、この時、生まれて初めて、「自己同一性」という青年の課題に直面します。当時、彼らの話を聞いていて、「何かを選ぶ」ということは、「その他を諦める」ということであり、このことを身をもって知ることが「成熟」ということなのだと言われました。あれから月日が経ち、今では、あまり「5月病」ということを耳にしなくなったようです。それは、「5月病」にかかる若者がいなくなったのではなく、それが、季節に関わりなく、世の中に蔓延しているからではないかという気がします。

世の中には、「こんなはずじゃなかった」ということは、いくらでもあります。むしろ、「思った通りだ」ということの方が少ないのではないのでしょうか。「こんなはずじゃなかった場所」で悩み、少しでも、「こんなはずの場所」に変えていく努力が、人を成長させるのだと思います。そのためには、「悩む力」が必要です。「悩む力」は、思春期から青年期に養われます。この時期に、この力をしっかり身につけておくことが大切です。社会学の専門家ではないので詳しくはわかりませんが、現代は、ひょっとしたら、若者に、「悩む力」を必要としないように思わせてしまう何かがあるのではないかと考えたりもします。

看護の日のイベント



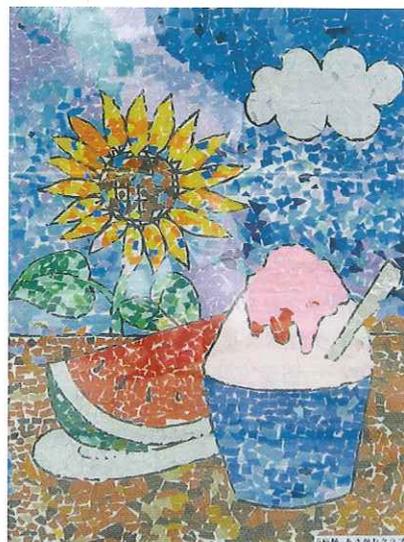
風薫る五月晴れの5月16日、当院作業療法棟において、看護の日のイベントを開催いたしました。昨年に引き続き第2回目の開催となり、今年は57名の方が参加されました。

イベント内容は、身体計測・相談コーナーに加え、今年は家庭で簡単に作れるレシピカードを作成し、来場者に配布しました。レシピを手にした方からは、「簡単でおいしそう」と、とても好評を得ました。

今年は、新たに患者さんの家族が自由に話せる場として、家族交流会を開催しました。普段の家族会は、病棟単位で行われていますが、今回は病棟・外来を問わず、自由に参加していただきました。

入院中の患者さんの家族は、退院後の不安など様々な悩みを抱えていますが、外来通院している患者さんや家族の実際の生の声を聴くことで、安心を得たり思いを共有する良い機会となり、看護の日ならではの交流会が開催できたのではないかと思います。最後に晴れやかな表情でお帰りになられる御家族の姿が、とても印象的でした。

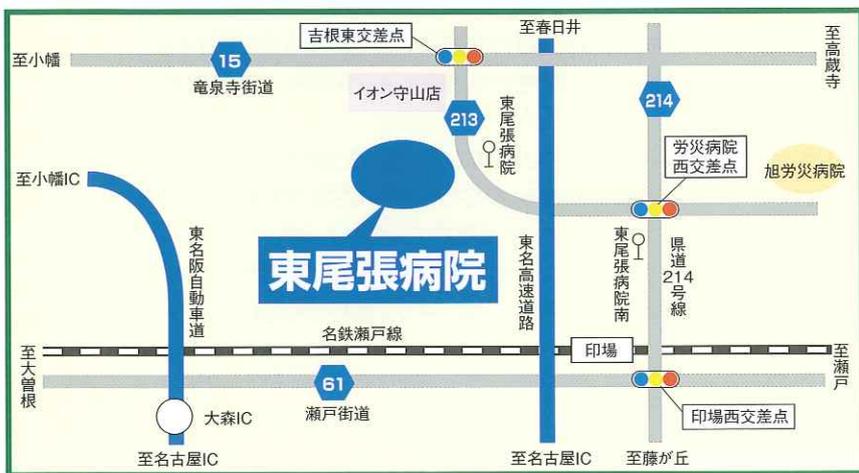
今後も、患者さんや御家族の方に、お役に立てるような企画を考え、よりパワーアップした看護の日のイベントにしていきたいと思っております。



	月	火	水	木	金
第1診察室	芦澤	木村	吉岡	酒井	菅原
第2診察室 (初診)	菅原(第1) 酒井(第2・5) 青木(淳)(第3) 木村(第4)	金田 (第1・3・5) 近藤 (第2・4)	青木(啓)／東 (隔週)	横山	芦澤
第3診察室	舟橋	青木(淳)	舟橋	芦澤	横山
第4診察室	八木	青木(啓)	青木(淳)	八木	木村
第5診察室	東	菅原	横山	吉岡	青木(啓)
第6診察室			近藤	金田	
午後診			鈴木	東	東

(注1)受付時間は、8:30～11:30です。(注2)家族相談、訪問看護、セカンドオピニオンも行っております。詳細につきましては、お問い合わせください。
(注3)再診の場合は、予約診療も行っております。

病院へのアクセス



名古屋方面から電車・バスで

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、市バス藤丘12系統 東谷山フルーツパーク行き乗車、東尾張病院南下車徒歩約5分
- JR中央線・地下鉄名城線大曾根駅下車
 - ① ゆとりーとライン志段味スポーツランド'経由中志段味行き乗車、東尾張病院下車
 - ② 名鉄瀬戸線で印場駅下車徒歩約20分、又は旭前駅下車後タクシーで約8分

名古屋方面から乗用車で

- 瀬戸街道(県道61号線)印場西交差点を北上、4つ目の信号「労災病院西」を左折してすぐ左手

春日井方面から乗用車で

- 竜泉寺街道(県道15号線)吉根東交差点(イオン守山店)を南下し、二つ目の信号を過ぎて約500m行った右側

病院バスの運行経路・時刻表

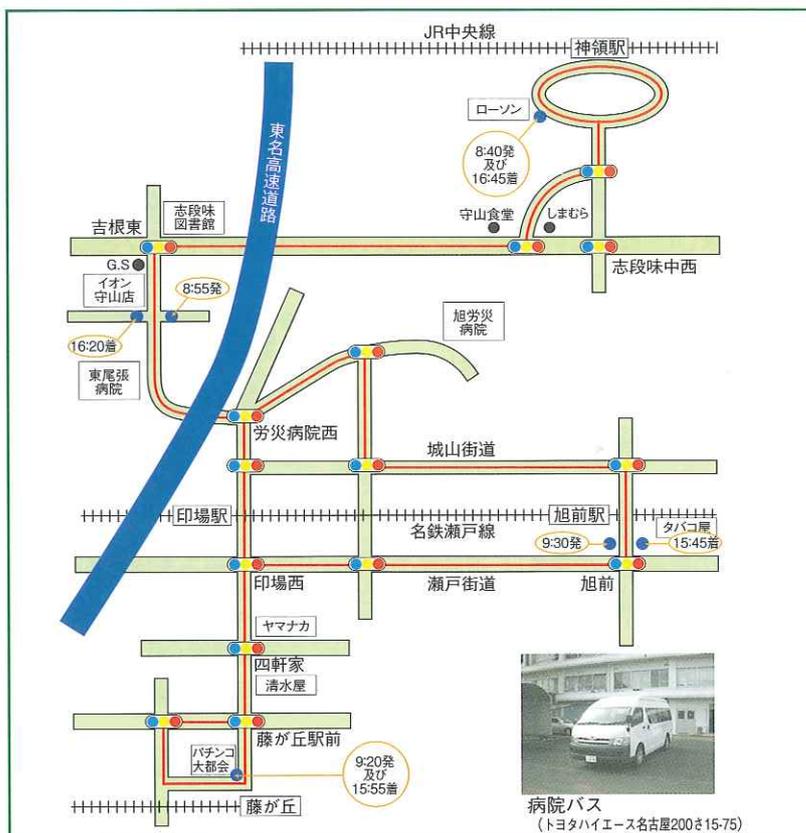
午前	午後
病院発 8:40	病院発 15:40
神領駅 8:50	旭前駅 15:45
守山イオン 8:55	藤が丘 15:55
病院着 9:00	病院着 16:10
病院発 9:05	病院発 16:15
藤が丘 9:20	守山イオン 16:20
旭前駅 9:30	神領駅 16:30
病院着 9:35	病院着 16:45

※土曜、日曜、祝日は運休します。

■病院マイクロバス乗り場案内

- 病 院……当院玄関東側の車庫前
- 旭前駅……名鉄瀬戸線旭前駅東側のタバコ屋前
- 藤が丘……地下鉄藤が丘駅西側のパチンコ店角
- 神領駅……中央線神領駅ロータリーのコンビニ前
- 守山イオン……イオン守山店南東側の高架下

※交通事情により多少遅れることがありますので御了承下さい。



病院バス (トヨタハイエース名古屋200さ15-75)